

# 資料1. 検討会の今後の進め方

---

# 本検討会の方向性

## 1. 背景

### ○社会資本整備審議会道路分科会建議 (H29.8.22)

- ・自動車の安全かつ円滑な通行が主目的であった道路空間の利活用へのニーズの変化
- ・【道路施策の具体的提案】～低速モビリティなど交通手段の多様化への対応、歩行者や自転車、ベビーカー等の安全で快適な通行空間の確保等のため、制約条件や交通環境等に応じ、混在も含めた道路空間の再構築を進めるべきである。

### ○2040、道路の景色が変わる ～人の幸せにつながる道路 (R2.6)

- ・「人の幸せの実現」を道路政策の原点に置き、道路が果たすべき役割を再考したもの。

### ○道路占用許可 基準の緩和

- ・コロナ占用特例 (R2.6～)

新たなニーズ

道路の利活用ニーズの多様化・増大

## 2. 多様なニーズを踏まえ実現したい事項 (多様なニーズへの対応+道路の再編)

◆一定エリア内で路線間の役割分担を伴う道路の再編

◆柔軟な道路構造や民間との連携

◆時間帯で使い方を変える柔軟な使い分け

## 3. 多様なニーズを実現する上での課題(現状)

①多様なニーズに応えるための道路の再編に関する情報不足

②道路管理者向けの実践ツール (ガイドライン等) が不十分

③合意形成を図る対象が多く、協議に時間を要する

※これまでの制度やガイドラインは、道路の構造ごと (車道、自転車道、歩道等) や、施策ごと (道路空間における賑わい創出、自転車、バリアフリー等) に特化した内容が多い

## 4. 対応策

### 「(仮称) 多様なニーズに応える道路の再編ガイドライン」の作成

#### ①道路の再編に関する情報提供

⇒多様なニーズへの対応策、協議事項や構造令・関連法令の整理、道路の再編の考え方など

#### ②道路の再編の促進

⇒有用な個別施策の紹介、検討ステップの明確化、ケーススタディを活用した支援など

#### ③関係者との円滑な合意形成の促進

⇒成功事例に基づく合意形成手法の整理、関係者協議における留意点の整理など

#### ◆個別施策 (実現するための手段の例)

- ・歩行者利便増進道路 (ほこみち)
- ・路肩・停車帯の活用 (パークレット)
- ・多様なモビリティの通行
- ・歩車共存道路

今後の進め方

# ガイドラインのイメージ

## ◇ガイドラインの概要（イメージ）

本ガイドラインは、一定エリアにおける道路の再編を行う担当者を対象に、多様なニーズに応える道路の再編を実施する際の手引書とする。

特徴としては、道路の再編にあたり、これ一冊でやるべきことが理解でき、留意点に留まらず、行政担当者目線で取るべきステップを明確化する。

### 【内容のイメージ】

#### ○再編の考え方について

- 一定のエリアで路線間の役割分担を行いつつ、どのような考え方でエリア内の道路の再編を進めていくのかを解説。

#### ○個別の機能について

- 歩行者利便増進道路、路肩・停車帯の活用、多様なモビリティの通行及び歩車共存道路等、ガイドラインがない分野について、内容を紹介。
- これまでに作成されてきたガイドライン（自転車、バリアフリー等）や、別に検討が進められている施策（カーシェア、荷捌き等）との重複はさせない。

⇒ガイドラインの内容については、公募によるケーススタディ地区での検討等を踏まえながら構築・精査していく。

## （仮称）多様なニーズに応える道路の再編ガイドライン 骨子案

### 1. はじめに

### 2. 地域での機能分担の考え方

- (1) 検討を行うエリアの設定  
機能分担に伴う交通の変化に対応するネットワークの整備状況や都市計画との整合といった前提条件等
- (2) 事前の調査項目  
自動車・歩行者・自転車交通量、荷捌きによる駐停車状況、公共交通利用状況等
- (3) 道路に求められる機能の例  
賑わい、物流、公共交通、自転車、安全・安心等
- (4) ネットワークにおける機能分担の考え方、方法及び留意事項  
環状道路の整備進展に合わせた街なかにおける道路ネットワークの役割分担

### 3. 道路の柔軟な使い分けの考え方

- (1) 物理的に空間を使い分ける道路の構造  
路肩・停車帯の利活用等
- (2) ニーズが集中する場所で時間別を使い分ける方法  
同一スペースを時間帯に応じ車両停車と歩行空間に使い分ける運用等
- (3) 民間との連携の方法  
道路占有や沿道建築物のセットバックによる歩行空間の拡充等
- (4) 法令上の整理  
道路法・道路構造令等における解釈

### 4. 関係者との合意形成及び評価方法

- (1) 「つくる目線」だけではなく「つかう目線」を意識した関係者との合意形成の進め方  
関係者による協働・横断的な体制の構築等
- (2) 各機能に応じた評価指標の選定及び評価方法
- (3) 評価指標を活用したマネジメント手法

### 5. 多様なニーズに応えるための有用な個別施策

歩行者利便増進道路、路肩・停車帯の利活用（パークレット等）、多様なモビリティの通行、歩車共存道路等

第1〜2回検討会を踏まえ整理

第3回検討会の範囲

## 本日の主な議題

### 第1回【令和2年5月21日(木) 9:30-11:30】

- ・ 総論
- ・ 「賑わいのある道路空間」のさらなる普及展開

### 第2回【令和2年7月9日(木) 10:00-12:00】

- ・ 求められる様々な機能を道路ごとに分担する考え方
- ・ 道路空間を柔軟に使い分ける構造・運用のあり方
- ・ 関係者との合意形成のあり方
- ・ 中間とりまとめ目次（案）について

### 第3回【令和3年1月22日(金) 10:00-12:00】

- ・ 検討会の今後の進め方
- ・ 多様なニーズに応える道路空間の評価指標、評価方法、マネジメントについて
- ・ 多様なニーズに応えるための有用な個別施策  
（歩行者利便増進道路（ほこみち）、路肩・停車帯の活用（パークレット）、  
多様なモビリティの通行、歩車共存道路等）
- ・ ケーススタディ地区の公募について

### 第4回【令和3年3月頃】

- ・ ガイドライン素案について
- ・ ケーススタディ地区の選定状況について

# 今後のスケジュール

